

そらんぼ 四日市へ 行こう! 第14回

～太陽系最大の惑星 木星～

この5月、日没後の南東の空にひとときわ明るく目立つ一番星があります。それは木星です。木星は太陽系最大の惑星で、直径は地球の約11倍、体積は約1,300倍もあります。地球のように固い地面はなく、成分のほとんどが水素とヘリウムの巨大なガス惑星です。表面は厚い雲に覆われていて、その内部はまだよく分かっていません。

木星には、これまで9機の探査機

「博物館」「プラネタリウム」「四日市公害と環境未来館」の見どころなどを紹介します。

開館時間 9:30～17:00 (展覧会への入場は16:30まで)
5月の休館日 5月8日・15日・22日・29日 (いずれも月曜日)
6月の休館日 6月5日(月)～12日(月)・19日(月)・26日(月)



が送り込まれてきました。現在はNASA (アメリカ航空宇宙局) の探査機ジュノーが探査しています。

ジュノーは2011年8月5日に打ち上げられ、約5年かけて木星に到達しました。従来の木星探査機とは違い、原子力電池ではなく太陽電池で必要な電力を確保するシステムを採用しています。ジュノーの最大の目的は、木星の内部を解き明かすことです。ジュノーの探査により、木星の起源や、さらには生命誕生の謎に迫ることができるかもしれません。

プラネタリウムでは、6月4日ま

で、一般番組『太陽系最大の惑星 木星』を放映しています。これまでの木星探査の歴史や、ジュノーの任務、木星の最新情報について解説します。この春は、プラネタリウムで木星を楽しんでみませんか。



問い合わせ先

博物館

(☎355-2700 FAX355-2704)

こにゅうどうくんの お部屋 第25回

萬古まつりに行ってみよう!

四日市は、東海地方を代表する焼き物の一つ「四日市萬古焼」の産地だよん。

5月13日(土)、14日(日)は、春の風物詩・萬古まつりが開催されるんだ。ポクやポッターくんも遊びに行くから会えるといいね。

萬古まつりの楽しみ方

何と言っても陶器市。市内の陶器屋さんや窯元さんが並ぶから、とつてもにぎやか。四日市にはこんなにたくさんの焼き物のお店や窯元があるんだってびっくりするよん。

ポクは去年、お気に入りの湯飲みを買ったんだ。ぜひ実際に使ってみて、四日市萬古焼の魅力を知ってほしいな。

市のマスコットキャラクター「こにゅうどうくん」のコーナーだよ。今回は、地場産業の四日市萬古焼について、旬の話題をお知らせするよ!



来年は「BANKO300th」

来年、2018年は萬古焼の陶祖・沼波弄山さんの生誕300年なんだって～。それに向けて「BANKO300th」っていうイベントを企画しているよん。今年は会場に「BANKO300th」を紹介するコーナーもあるから注目だね!



問い合わせ先

観光・シティプロモーション課
(☎354-8286 FAX354-8307)

有料広告掲載欄

建設職人なら誰でも入れる組合です

建労 四日市支部

随時加入者募集中

三建国保

組合独自の建設労働者の健康保険

出産育児一時金 (42万円)
葬祭費 (本人10万円・家族7万円)
高額療養費、無料健康診断の開催
人間ドックに対する補助 (3万3千円)
脳ドックに対する補助 (2万円) など

三重県建設労働組合四日市支部 四日市市ときわ5丁目1-8 ☎(059)354-1531(代)

本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。